

SDGs に関連するCSR 重要課題と高田製薬の取り組みについて

事業活動を通じ、社会課題の解決に向けた取り組みを推進するため、特定した当社の CSR マテリアリティとSDGs との関係を整理し、それぞれに対する KPI、目標、具体的な取り組みを一覧にまとめました。

本報告書の カテゴリー	項目	SDGs	CSR重要課題 (マテリアリティ)	主要なテーマ	活動概要	KPI	目標	活動実績（～2026年3月）	掲載 ページ
CSR推進	品質・安定供給	9 産業と経済活動の 発展をつくる 12 つくも資源は つぎも活用 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・医薬品の品質確保および 安定供給	・品質を最優先する体制 ・安定供給体制	・品質管理の徹底 ・「安心と信頼への約束」に基づく品質の追求 ・安定確保医薬品の供給 ・新たな領域の医薬品の提供 ・医薬品情報の適切な提供と収集 ・生産能力増強 ・生産体制強化	・品質も供給も安心いただける医 薬品の提供	・生産能力増強（高薬理活性製剤への注力など） ・生産体制強化（安定供給体制の構築と強化）	・生産能力増強（北埼玉工場2号棟稼働） ・生産体制強化	18-21
	調達		・サステナブル調達の推進	・サステナブル調達の推進	・サステナブル調達方針の策定 ・サステナブル調達ガイドライン、 アクションプラン作成	・サステナブル調達アクションプラン の作成 ・サプライヤー調査	・サステナブル調達に関するアクションプランの作成・運用 ・サプライチェーン管理の推進 ・サプライチェーン調査実施	・廃棄物処理業者の現地確認（4社）、サプライヤーアンケート回答（2社） ・社内 CSR セミナー開催 ・サプライヤーアンケートに関する情報収集、ドラフト作成 ・取引先からのサプライヤーアンケート等への協力 ・EcoVadis 社によるサステナビリティ評価受審（ブロンズメダル獲得）	22
	健康福祉		・健康寿命の延伸 ・社会貢献活動 ・子供達への支援	・医療費削減、患者負担軽減 への取り組み ・ジェネリック医薬品についての 情報提供 ・持続可能な社会への貢献 ・EHS の推進	・低価格で高品質なジェネリック医薬品の 供給 ・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数の 推移 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費 削減効果 ・多様なパートナーシップの活性化 ・おくすり教室等 ・EHS の推進	・ジェネリック医薬品新規薬価収載 件数 ・ジェネリック医薬品の供給による 医療費削減効果 ・社会貢献活動取り組み件数 ・環境、健康、安全に関する法令 対応	・ジェネリック医薬品の薬価収載件数：着実な件数増加 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減：継続的な実現 ・関係団体の研修会や工場見学への協力 ・社会貢献活動年3回以上実施	・ジェネリック医薬品新規薬価収載件数： 2025 年 12 月期 1 成分3品目 2026 年 6 月期 3 成分6品目 ・ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果（出荷ベース）：約102.3 億円 ・健康情報の発信 ・関係団体主催の研修会、工場見学の協力 ・おくすり教室（小学3年生を対象に実施） ・寄付型自動販売機 対象商品購入総数671 本（2025 年4月～2026 年3月） ・障害者アートの利活用（CSR 報告書2026 表紙） ・認定 NPO 法人発達わんぱく会へシール、折り紙、メモ用紙、鉛筆の寄贈 ・フードドライブの開催（さいたま市子ども食堂ネットワーク 出張子ども食堂 in 輪島でのフードバンクトリーへ協力） ・各事業所の地域貢献（各事業所周辺の清掃活動の様子をゴミ拾い SNS「ピリカ」にて開示） ・環境、健康、安全に関する推進体制、法令対応	13,23, 24-25, 42-45
	環境（E）		・環境保全への対応	・気候変動 ・廃棄物に関する管理活動の 推進 ・水に関する取り組み ・環境に関する啓蒙活動 ・化学物質	・CO ₂ 排出量削減策の推進 ・エネルギー使用量削減策の推進 ・社有車のHV 車等エコカーへの切り替え ・廃棄物発生抑制 ・再資源化の推進 ・水に関する取り組み ・環境に関する啓蒙活動 ・化学物質による環境汚染の防止	・エネルギー使用量 ・CO ₂ 排出量 ・Scope3 排出量 ・ハイブリッド（HV）車導入率 ・廃棄物発生量 ・最終処分率 ・再資源化率 ・上水使用量 ・化学物質 ・環境に関する啓蒙活動	・省エネ法定定期報告 S クラス評価取得 ・CO ₂ 排出量： Scope1、2 の 計：2030 年度実績 2018 年度比48.8% 削減 Scope1：2018 年度比49.6% 削減 Scope2：2018 年度比48.2% 削減 Scope3 排出量の把握継続 ・最終処分量：2025 年度に2000 年度実績比75%程度削減 ・再資源化率：2025 年度実績60%以上 ・廃プラスチック再資源化率：2030 年度実績65% 以上	・Scope1・2 排出量合計 12,159t-CO ₂ （2018 年度比43% 削減） ・Scope3 算定（2025 年度実績） ・カーボンニュートラル給油カードの継続利用 ・省エネ法定定期報告努力目標未達 クラス分け評価 A クラス ・省エネの取り組み（省エネ委員会の開催等） ・社有車のHV 車割合：97.3% ・3R 実施（廃プラスチックのケミカルリサイクル処理等） ・廃プラスチック再資源化推進（新規処理業者との契約締結） ・廃プラスチック再資源化率：61.4% ・環境に配慮したバイオマスプラスチックボトルの採用 ・生物多様性、水リスクフィルターによるリスク評価 ・環境に関する啓蒙活動（e- ラーニング：6 回 セミナー：9 回） ・化学物質への対応（PRTR 法）	26-34
社会（S）	人財	3 すべての人に 健康と福祉を 10 人や国の不平等を なくそう 4 質の高い教育を みんなに 5 ジェンダー平等を 実現しよう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	・多様な従業員が働きやすい 職場環境改善・整備の推進	・従業員の能力最大化と安心 して働ける環境の向上	①働き方改革 ・育児支援制度 ・有給休暇制度 ・病気療養者の支援制度 ・時間外労働の是正 ・有給休暇の取得促進	・男性の育児休業制度利用者数 ・「子育てサポート企業」として厚生 労働省「くるみん」の認定の取得 ・1 人当たりの従業員の平均残業 時間 ・年次有給休暇取得率	・男性の育児休業制度利用者数 15 人 （2027 年9月まで） ・年次有給休暇平均取得率 80%達成 （2027 年11月まで）	・女性の育児休業制度の利用者数15 人（利用率100%） ・「子育てサポート企業」として厚生労働省「くるみん」の認定の取得 認定日 2025 年2月 ・男性の育児休業制度の利用者数7 人（2024 年10月～2025 年9月） ・1 人当たりの従業員の平均残業時間 14.3 時間（2024 年10月～2025 年9月） ・年次有給休暇平均取得率 75.9%※2024 年12月～2025 年11月 ・年次有給休暇の時間単位付与制度改定 時間単位付与制度：有給休暇のうち年間5 日を時間単位で使用できる様に拡大	36-37
			・多様な従業員が働きやすい 職場環境改善・整備の推進	・従業員の能力最大化と安心 して働ける環境の向上	②ダイバーシティ&インクルージョン ・ダイバーシティ（多様性）の推進 ・女性活躍推進 ・障害者雇用	・女性管理職比率 ・障害者雇用率	・女性管理職比率 12%（2027 年9月まで） ・障害者雇用率 2.7%維持 ・障害者の適材適所での活躍推進	・女性管理職比率 11.2%（2024 年10月～2025 年9月） ・障害者雇用率 2.5%（2025 年9月）	37
			・多様な従業員が働きやすい 職場環境改善・整備の推進	・従業員の能力最大化と安心 して働ける環境の向上	③採用・人財育成 ・タレントマネジメントによる戦略的 人員配置と人財育成の推進	・タレントマネジメントによる戦略的 人員配置制度の運用	・戦略的 人員配置制度の実施	・自己啓発の促進策を実施（e-learning 教材の充実 タレントマネジメントシステムの 基盤整備を推進） ・人事制度、目標管理制度の改善を実施	35
			・多様な従業員が働きやすい 職場環境改善・整備の推進	・従業員の能力最大化と安心 して働ける環境の向上	④健康経営の推進 ・健康管理の取り組み（健康診断の実施、 ストレスチェック検査等） ・健康増進の取り組み ・禁煙推奨活動	・健康診断受診率 ・ストレスチェック受検率 ・残業時間の月別比較 ・喫煙率	・健康診断受診率 100% ・ストレスチェック受検率 100% ・健康優良企業 step2 金の認定取得への取り組み ・喫煙率 0%（2030 年度目標）	・健康診断受診率（2024 年4月1日～2025 年3月31日）97.9% ・ストレスチェック受検率（2025 年7月）90.0% ・健康優良企業 step1 銀の認定更新 認定日 2025 年11月1日 ・健康経営優良法人2026 の認定 認定日：2026 年3月9日 ・健康増進の取り組み ・喫煙率（2025 年度喫煙率：18%） ・化学物質の安全管理推進、法定作業環境測定実施（3月、9月）	38-40
			・多様な従業員が働きやすい 職場環境改善・整備の推進	・従業員の能力最大化と安心 して働ける環境の向上	⑤人権の尊重 ・人権の尊重に関する方針等の言及 ・様々なハラスメントの防止	・コンプライアンス研修の実施	・ステークホルダーへ人権が尊重されるような取り組みの強化 ・従業員の 人権意識の向上	・コンプライアンス教育活動実施 ・社内コンプライアンス啓発ポスター発行 ・CSR セミナー継続開催「人権の尊重」等	41
コーポレート・ ガバナンス（G）	公正堅実	16 平和と公正を すべての人に	・法令遵守 ・公正・誠実な事業活動	・ガバナンス ・コンプライアンス ・腐敗防止 ・リスクマネジメント	・コンプライアンスの徹底 ・薬機法および GMP 省令等の遵守 ・リスク管理の推進 ・内部統制の整備 ・ガバナンス強化 ・贈収賄・腐敗行為の防止 ・BCM の推進	・Quality Culture の醸成	・高田製薬のガバナンス強化： リスクマネジメント・コンプライアンス推進の強化 ・コンプライアンス研修の実施 ・従業員の腐敗防止意識の向上 ・BCM 教育、模擬訓練の実施 ・BCM 推進	・高田製薬のガバナンス強化 ・リスクマネジメント・コンプライアンスの推進 ・コンプライアンス意識調査の実施 ・「企業活動と医療機関等の関係の透明性に関する指針」の遵守 （医療機関等に対する資金提供内容の公開） ・「患者団体との協働に関する指針」「企業活動と患者団体の関係の透明性に関する指針」策定 ・BCM 推進 危機対策本部体制更新 ・BCP 啓蒙の継続 ・防災への取り組み 安否確認訓練の実施、各事業所避難訓練・消火訓練、救命講習の実施	46-49